

受けて安心 がん検診

がん検診は自覚症状のないあなたこそ受けるものです!

早期発見のためのがん検診

科学的な検証により、がんの死亡率を減少させる効果があると認められたがん検診(*)

胃がん検診

40歳以上:年1回



●胃エックス線検査

バリウム(造影剤)と発泡剤(胃を膨らませる薬)を飲み、エックス線で胃の形や粘膜を撮影します。

肺がん検診

40歳以上:年1回



●胸部エックス線検査

肺全体をエックス線で撮影する検査です。

●喀痰(かたん)細胞診(医師が必要と認めた場合)

痰にがん細胞が混ざっていないか調べます。

大腸がん検診

40歳以上:年1回



●便潜血検査

便の中の血液を調べ、大腸内の出血の有無を調べます。

子宮頸がん検診

20歳以上女性:年1回



●細胞診検査

子宮頸部(子宮の入口)の細胞を採取して、顕微鏡で診断します。

乳がん検診

40歳以上女性:2年1回



●マンモグラフィ

乳房を装置ではさみ、圧迫してエックス線撮影します。

●視触診

医師が乳房にしこりがないか診察します。

(※)「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」及び「島根県子宮がん検診実施のための指針」等より

がん検診の流れ



がん検診を受ける

異常なし

異常あり

必ずしも「がん」だというわけではありません

精密検査

早期発見のチャンスです。むやみにこわがらず必ず受診しましょう。

異常なし
または、良性の病変

異常あり

定期的ながん検診

診断

がん検診を受診するには

検診内容、費用、対象年齢などは、市町村で異なります。詳しくは、職場もしくはお住まいの市町村へお問い合わせください。

事業所等で働いている

NO

YES

事業所が
行っている
がん検診を

NO

YES

事業所で
受診しま
しょう

受診できな
かった人は

市町村窓口
に
相談しまし
ょう